

平成21年3月期 第1四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成20年8月8日

上場会社名 日本ハム株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員グループ経営本部長 (氏名) 竹添 昇

TEL 06-6282-3171

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	266,820	7.2	9,741	240.6	11,852	308.1	7,511	328.0
20年3月期第1四半期	248,834	4.9	2,860	41.4	2,904	193.0	1,755	229.9

	1株当たり四半期純利益		希薄化後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	32.92		32.86	
20年3月期第1四半期	7.69		7.68	

(注) 営業利益は日本の会計慣行に従い、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	643,568		293,569		45.6		1,286.56	
20年3月期	608,809		287,457		47.2		1,259.74	

(注) 株主資本、株主資本比率、1株当たり株主資本は米国会計基準に基づき記載しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	16.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	535,000	5.6	16,500	171.2	14,500	—	9,000	—	39.44
通期	1,075,000	4.1	24,000	37.2	20,000	306.3	12,000	671.7	52.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は3ページ「4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 228,445,350株 20年3月期 228,445,350株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 263,964株 20年3月期 257,001株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 228,184,240株 20年3月期第1四半期 228,190,032株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、平成20年5月16日に公表しました平成21年3月期の連結業績予想については第2四半期連結累計期間、通期とも本資料にて修正しています。詳細につきましては本日平成20年8月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

業績全般の状況

当第1四半期のわが国経済は、米国経済の景気後退の影響を受けて輸出が減速する中、急激な原油高や原材料価格の高騰に伴う物価上昇が消費者心理に影響を与え、個人消費が伸び悩むなど厳しい局面となりました。

当業界におきましても、国際的な食料の需要増大や飼料高に起因する原料価格の高騰、原油高による燃料費、資材費の上昇もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは新中期経営計画パートⅡに掲げた「弛まぬ変革・挑戦による企業価値向上」を果たすべく、様々な経営課題に取り組んでまいりました。コスト競争力を強化するために生産拠点や営業体制の再編を推し進める一方、昨年9月に続いて本年6月に加工食品の一部を価格改定いたしました。また、消費者の食への安全・安心に対する関心が高まる中、品質向上活動の一層の推進と共に、環境問題への対応などにも積極的に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期の売上高については対前年同期比7.2%増の266,820百万円となりました。利益につきましては、豚肉や鶏肉など食肉の販売が好調に推移したことにより、営業利益は対前年同期比240.6%増の9,741百万円、税引前四半期純利益は対前年同期比308.1%増の11,852百万円、四半期純利益は対前年同期比328.0%増の7,511百万円となりました。

オペレーティング・セグメントの概況

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門は「シャウエッセン」やリニューアル後好調に推移している「森の薫り」ウインナーなど主力ブランドを中心に販売促進を図るとともに、中元商戦や高付加価値商品の開発にも積極的に取り組みました。また、原材料価格の高騰に対しましては、生産ラインの集約や商品アイテムの統合を図り、高生産性ラインの開発・導入に注力しました。

加工食品部門は中国産餃子問題の余波を受けて苦戦するカテゴリーがある中、ピザ・ベーカリー類の「石窯工房」群を中心に売上げを伸長させました。経路別では量販店のデリカ部門は国産品回帰の追い風もあり売上げは伸長しました。また、生産拠点や生産ラインの集約、商品アイテムの統合を積極的行いましたが、原材料価格の高騰が続いていることもあり、小麦粉を使用した商品および鶏肉加工品の一部については価格改定に取り組みました。

以上の結果、加工事業本部の売上高は対前年同期比1.7%増の77,300百万円、営業利益は842百万円（前年同期は251百万円の営業損失）となりました。

(食肉事業本部)

食肉事業本部は、自社グループ農場から全国の販売会社までの一貫供給体制であるインテグレーション・システムの強みを活かし、売上数量の拡大に取り組みました。国際的な食料需要の増大や消費者の内食志向、国産志向を背景にした相場高による単価の上昇も加わり、鶏肉を中心に大きく売上げを伸長させました。

利益につきましては、川上分野のファーム部門は生産性向上と効率化によるコストの削減、川中分野の卸売り部門は社外仕入の拡充、川下分野の販売部門は量販店など重点顧客に対するプレゼンテーションやメニュー提案による拡販を図るなど、機能の明確化と全畜種を扱う総合力を発揮したことにより大幅な増益となりました。

以上の結果、食肉事業本部の売上高は対前年同期比9.1%増の184,888百万円、営業利益は対前年同期比157.8%増の8,422百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、主力商品である寿司種や国内産地鮮魚は量販店、寿司店を中心に拡販しました。しかしながら、相場高騰により出荷減となった「マグロ」や消費者の中国産離れによる影響を受けた「ウナギ」の取扱いは減り、売上高は減少しました。利益は価格改定や円高による一部仕入れコストの低減もあり、改善しました。

乳製品部門は、ヨーグルト、乳酸菌飲料につきましては、顧客ニーズを捉えた「脂肪0%」シリーズが好調

に推移しましたが、原材料価格の高騰に対応して既存品の販売条件の見直しを実施したことにより売上げは伸び悩みました。チーズにつきましては、新商品の開発や新規得意先の開拓、価格改定が順調に推移し、売上げ、利益とも好調でした。

以上の結果、関連企業本部の売上高は対前年同期比 0.2%減の 32,222 百万円、営業利益は 307 百万円（前年同期は 214 百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

《財政状態》

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が 16,294 百万円、棚卸資産が 11,786 百万円それぞれ増加したことなどにより前期末比 5.7%増の 643,568 百万円となりました。負債については、前期末に比べ支払手形及び買掛金が 15,074 百万円、短期借入金が 12,479 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 9.0%増の 347,942 百万円となりました。なお有利子負債は、前期末から 10,588 百万円増加し 194,127 百万円となりました。

株主資本は、前期末比 2.1%増の 293,569 百万円となり、株主資本比率は総資産が増加したことから前期末比 1.6 ポイント低下し、45.6%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産や受取手形及び売掛金の増加などはありませんでしたが、四半期純利益、支払手形及び買掛金の増加などにより、14,870 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の減少はありませんでしたが、固定資産の取得などにより 2,716 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、現金配当や長期債務の返済はありませんでしたが、短期借入金の増加などにより 4,140 百万円の純キャッシュ増となりました。

これらの結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 16,294 百万円増加し 60,543 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、当第2四半期累計期間及び通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日平成20年8月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

- | | |
|---|-----|
| (1) 期中における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | : 無 |
| (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | : 無 |
| (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 | : 有 |

平成18年9月に、米国財務会計基準審議会は、財務会計基準書(以下、「基準書」といいます。)第157号「公正価値による測定」を発行しました。当社は、平成20年4月1日より基準書第157号を適用しております。基準書第157号適用による当社の経営成績及び財政状態に与える重要な影響はありません。

(4) 連結財務諸表の作成基準

当社の連結財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠して作成しております。また、当期の表示に合せて前期の数値を一部組替えて表示しています。

5. 連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日現在)	前連結会計期間末に係る 連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流 動 資 産		
現 金 及 び 現 金 同 等 物	60,543	44,249
定 期 預 金	14,112	16,289
有 価 証 券	95	388
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	115,394	110,084
貸 倒 引 当 金	△ 520	△ 457
棚 卸 資 産	124,004	112,218
繰 延 税 金	5,986	8,566
そ の 他 の 流 動 資 産	19,078	13,389
流 動 資 産 合 計	338,692	304,726
投資及び長期債権		
関連会社に対する投資及び貸付金	2,258	2,220
そ の 他 の 投 資 有 価 証 券	19,556	18,672
保証金及びその他の投資	10,709	10,830
投資及び長期債権合計	32,523	31,722
有形固定資産(減価償却累計額控除後)	245,752	246,874
長期繰延税金	12,691	12,954
そ の 他 の 資 産	13,910	12,533
資 産 合 計	643,568	608,809
(負債及び資本の部)		
流 動 負 債		
短 期 借 入 金	68,906	56,427
一年以内に期限の到来する長期債務	17,450	18,540
支払手形及び買掛金	102,370	87,296
未 払 法 人 税 等	1,475	1,983
繰 延 税 金	1,252	579
未 払 費 用	19,885	15,460
そ の 他 の 流 動 負 債	10,117	11,242
流 動 負 債 合 計	221,455	191,527
退職金及び年金債務	13,897	14,299
長期債務(一年以内期限到来分を除く)	110,054	110,940
長期繰延税金	2,536	2,471
少数株主持分	2,057	2,115
資 本		
資 本 金	24,166	24,166
資 本 剰 余 金	50,984	50,944
利 益 剰 余 金		
利 益 準 備 金	7,020	6,903
そ の 他 の 利 益 剰 余 金	212,673	208,930
その他の包括損失累計額	△ 951	△ 3,173
自 己 株 式	△ 323	△ 313
資 本 合 計	293,569	287,457
負 債 及 び 資 本 合 計	643,568	608,809

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 連結累計期間 自平成20年4月 1日 至平成20年6月30日	前年同四半期 連結累計期間 自平成19年4月 1日 至平成19年6月30日	(参 考) 前連結会計年度 自平成19年4月 1日 至平成20年3月31日
収 益			
売 上 高	266,820	248,834	1,032,291
そ の 他	3,362	1,484	1,025
収 益 合 計	270,182	250,318	1,033,316
原 価 及 び 費 用			
売 上 原 価	215,290	203,567	843,007
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	41,789	42,407	171,793
支 払 利 息	683	719	2,786
そ の 他	568	721	10,807
原 価 及 び 費 用 合 計	258,330	247,414	1,028,393
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,852	2,904	4,923
法 人 税 等	4,343	1,141	3,358
持分法による投資損益前 四半期(当期)純利益	7,509	1,763	1,565
持分法による投資損益 (法人税等控除後)	2	△ 8	△ 10
四半期(当期)純利益	7,511	1,755	1,555

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期 連結累計期間 自平成20年4月 1日 至平成20年6月30日	前年同四半期 連結累計期間 自平成19年4月 1日 至平成19年6月30日	(参 考) 前連結会計年度 自平成19年4月 1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
四半期(当期)純利益	7,511	1,755	1,555
調 整 項 目：			
減 価 償 却 費	6,034	5,915	24,486
豪州子会社固定資産減損損失	—	—	2,456
繰延税金	3,272	487	138
受取手形及び売掛金の(△増)減	△ 4,825	△ 5,831	5,809
棚卸資産の(△増)減	△ 12,148	△ 8,699	408
その他の流動資産の(△増)減	△ 3,254	△ 3,556	811
支払手形及び買掛金の増(△減)	14,729	6,570	△ 6,260
未払法人税等の減	△ 497	△ 2,627	△ 1,994
未払費用及びその他の流動負債の増	4,339	4,660	1,373
そ の 他 — 純 額	△ 291	△ 225	327
営業活動による純キャッシュ増(△減)	14,870	△ 1,551	29,109
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
固定資産の取得	△ 4,850	△ 4,497	△ 18,632
固定資産の売却	305	125	1,650
定期預金の(△増)減	2,196	26	△ 9,764
有価証券及びその他の投資有価証券の取得	△ 231	△ 52	△ 2,137
有価証券及びその他の投資有価証券の売却	310	12	2,270
保証金及びその他の投資の(△増)減	△ 373	134	630
そ の 他 — 純 額	△ 73	△ 51	△ 810
投資活動による純キャッシュ減	△ 2,716	△ 4,303	△ 26,793
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
現 金 配 当	△ 3,658	△ 3,667	△ 3,677
短期借入金の増(△減)	10,802	8,824	△ 7,633
長期債務の借入	2	1,111	31,426
長期債務の返済	△ 2,996	△ 3,555	△ 12,630
そ の 他 — 純 額	△ 10	△ 11	△ 35
財務活動による純キャッシュ増	4,140	2,702	7,451
純キャッシュ増(△減)	16,294	△ 3,152	9,767
期首現金及び現金同等物残高	44,249	34,482	34,482
四半期(当期)末現金及び現金同等物残高	60,543	31,330	44,249
補足情報：			
四半期(当期)キャッシュ支払額			
支 払 利 息	722	684	2,705
法 人 税 等	1,817	4,027	6,904
キャピタルリース債務発生額	507	72	2,034

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

オペレーティング・セグメント情報

連結会社のオペレーティング・セグメントは、以下の3つの事業グループから構成されています。

加工事業本部：主にハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売

食肉事業本部：主に食肉の生産・販売

関連企業本部：主に水産物・乳製品の製造・販売

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	73,787	164,438	31,232	269,457	(2,637)	266,820
(2) セグメント間の内部売上高	3,513	20,450	990	24,953	(24,953)	-
計	77,300	184,888	32,222	294,410	(27,590)	266,820
営 業 費 用	76,458	176,466	31,915	284,839	(27,760)	257,079
営 業 利 益	842	8,422	307	9,571	170	9,741

前年同四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,727	147,456	31,479	251,662	(2,828)	248,834
(2) セグメント間の内部売上高	3,263	22,024	815	26,102	(26,102)	-
計	75,990	169,480	32,294	277,764	(28,930)	248,834
営 業 費 用	76,241	166,213	32,508	274,962	(28,988)	245,974
営 業 利 益（△ 損 失）	△ 251	3,267	△ 214	2,802	58	2,860

（注） 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれています。

2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しています。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っています。

3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

4. 平成20年4月1日付で、一部の子会社の管轄事業本部を変更したため、関連する各報告オペレーティング・セグメントの前年同四半期連結累計期間について組替再表示を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成21年3月期第1四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

平成20年8月

I ハイライト情報

《連結決算》

(単位：百万円、%)

	19年3月期第1 四半期(実績)	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)	21年3月期 第2四半期 連結累計期間 (計画)	21年3月期 (計画)
売上高	237,227	248,834	266,820	7.2%	1,032,291	535,000	1,075,000
売上総利益	42,805	45,267	51,530	13.8%	189,284		
営業利益	2,023	2,860	9,741	240.6%	17,491	16,500	24,000
税引前利益	991	2,904	11,852	308.1%	4,923	14,500	20,000
当期純利益	532	1,755	7,511	328.0%	1,555	9,000	12,000
売上高営業利益率	0.9%	1.1%	3.7%		1.7%	3.1%	2.2%
総資産税引前利益率(ROA)	0.2%	0.5%	1.9%		0.8%		

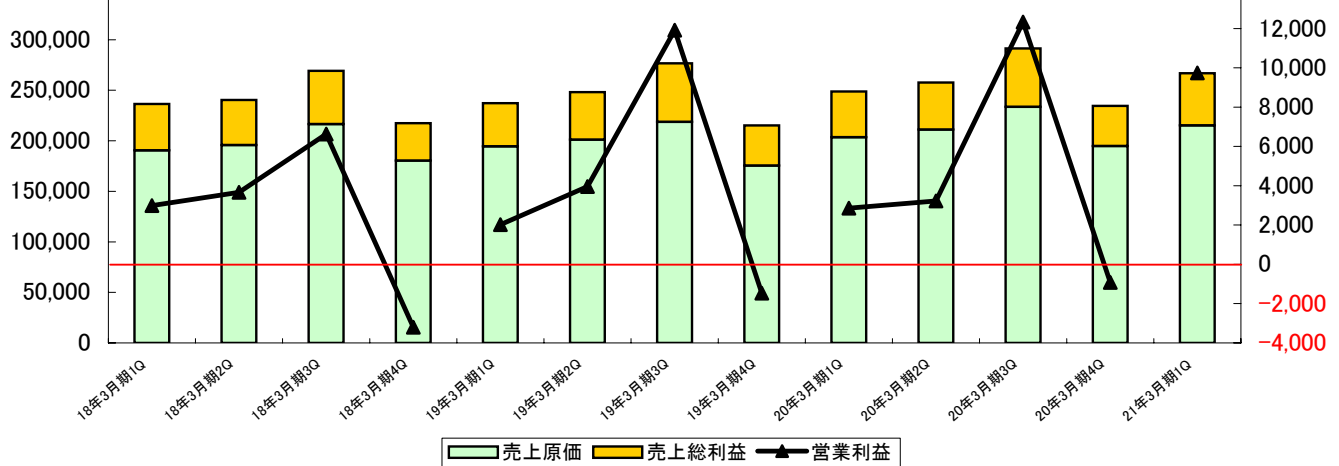
売上高・売上総利益

350,000

売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

営業利益

14,000



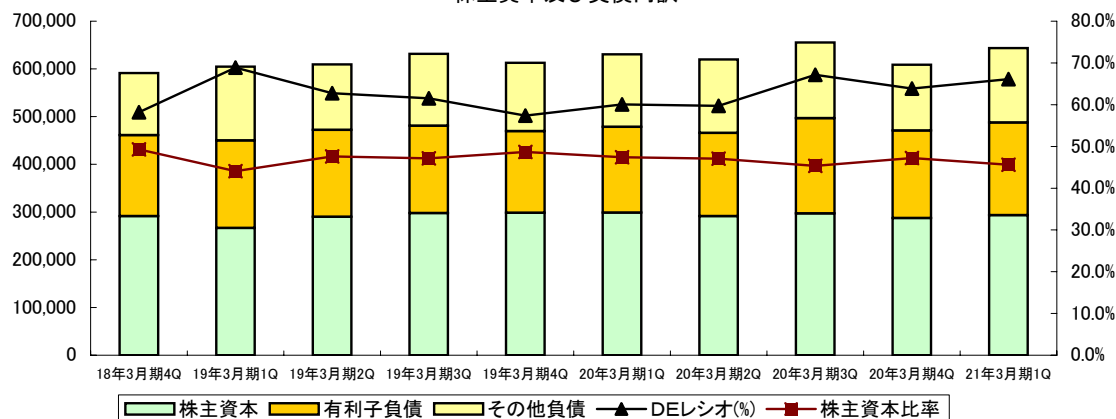
(単位：百万円)

	19年3月期第1 四半期(実績)	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	20年3月期 (実績)	21年3月期 (計画)
総資産	604,860	630,471	643,568	608,809	
株主資本	287,136	298,912	293,569	287,457	
有利子負債	183,667	179,579	194,127	183,539	
設備投資額	3,003	4,144	4,705	18,627	21,000
減価償却費	5,733	5,764	5,879	23,939	24,000

総資産

株主資本及び負債内訳

比率

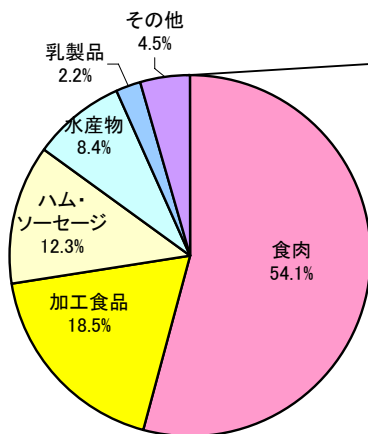


Ⅱ 連結売上内訳

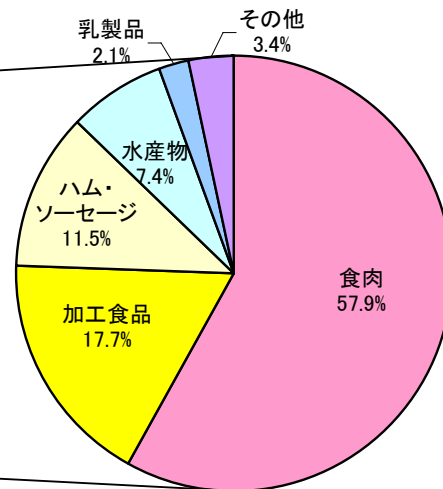
(単位：百万円、%)

	20年3月期第1 四半期(実績)		21年3月期第1 四半期(実績)		対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)		21年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	30,561	12.3%	30,674	11.5%	0.4%	132,820	12.9%	133,500	12.4%
加工食品	45,989	18.5%	47,142	17.7%	2.5%	185,734	18.0%	189,500	17.6%
食肉	134,727	54.1%	154,651	57.9%	14.8%	557,969	54.1%	609,500	56.7%
水産物	20,969	8.4%	19,675	7.4%	△ 6.2%	86,226	8.3%	80,000	7.5%
乳製品	5,323	2.2%	5,572	2.1%	4.7%	22,124	2.1%	22,500	2.1%
その他	11,265	4.5%	9,106	3.4%	△ 19.2%	47,418	4.6%	40,000	3.7%
合 計	248,834	100.0%	266,820	100.0%	7.2%	1,032,291	100.0%	1,075,000	100.0%

20年3月期1Q連結売上構成比



21年3月期1Q連結売上構成比



Ⅲ 連結販売費及び一般管理費内訳

(単位：百万円、%)

	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)
人件費	18,942	17,652	△ 6.8%	72,750
販売促進費	2,912	2,825	△ 3.0%	14,360
物流費	8,380	8,726	4.1%	35,354
その他	12,173	12,586	3.4%	49,329
合 計	42,407	41,789	△ 1.5%	171,793

Ⅳ 連結その他収益及びその他費用内訳

1. その他収益 (単位：百万円、%)

	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	対前年同期 増減率	20年3月期 (実績)
受 取 利 息 ・ 配 当 金	305	366	20.0%	969
為 替 差 益	1,156	2,989	158.6%	-
そ の 他	23	7	△ 69.6%	56
合 計	1,484	3,362	126.5%	1,025

2. その他費用 (単位：百万円、%)

	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	前年同期比 増減率	20年3月期 (実績)
有 価 証 券 評 価 損	47	1	△ 97.9%	930
固 定 資 産 減 損	0	275	-	2,714
特 別 退 職 金	542	110	△ 79.7%	3,472
為 替 差 損	-	-	-	2,392
そ の 他	132	182	37.9%	1,299
合 計	721	568	△ 21.2%	10,807

Ⅴ 地域別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日） (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	241,185	25,635	266,820	-	266,820
(2)セグメント間の内部売上高	221	20,877	21,098	(21,098)	-
計	241,406	46,512	287,918	(21,098)	266,820
営 業 費 用	231,882	46,379	278,261	(21,182)	257,079
営 業 利 益	9,524	133	9,657	84	9,741

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

前年同四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日） (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	223,888	24,946	248,834	-	248,834
(2)セグメント間の内部売上高	194	23,092	23,286	(23,286)	-
計	224,082	48,038	272,120	(23,286)	248,834
営 業 費 用	219,771	49,765	269,536	(23,562)	245,974
営 業 利 益 (△ 損 失)	4,311	△ 1,727	2,584	276	2,860

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。